

地域が元気になる！ 環境学習連続講座 後編

平成26年11月26日(水)嶺北会場
27日(木)嶺南会場

認定NPO法人環境市民
下村委津子

前回のおさらい

- 市民まちづくり応援団養成講座
公民館との協力でまちの宝探し、まちづくり塾、
まちづくりの花を咲かせる
- 活力に満ちた「古の里遠敷」
遠敷の宝を守り伝えるために
- 地域と協力したビオトープ整備、管理運営
- 鹿谷町まちづくり協議会の取り組み

コーディネーターって...

- 聞く力
- 目標達成に向けて、参加する人と行動を
有機的かつ柔軟に構築していく力
→合意形成、win-winの関係をつくる
- 場をつくる力
- 参加する人、ボランティア、関係する人、NPO、
などの人たちが、生き生きと活動するように
する力

メダカ通りビフォー アフター



2001年

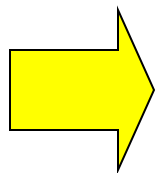


2004年

多治見市

市街地の用水路整備(建設部)

- 建設部の目的：老朽化した水路の改修
- 行政改革：市施設の維持管理へ地域住民の参画を→企画・設計時から
- 若手職員自主研修：「メダカ为学校构想」
→人事秘書課 管掌
- 環境基本計画：市街地での親水空間整備、
ビオトープづくり



上記を兼ね備えた整備計画づくりへ



2006年



植栽活動 (2001年)



住民が作った田んぼ ビオトープ





ハイデルベルク市民の森

「余暇のために、資源のために、動物のために」

FSC認証、PEFC認証の森: 3300haのうち、280haがビオトープ



ハイデルベルク市：ヘクトルセミナー

■学術的なプログラムと観察

- 気象観測
 - 動物、鳥の巣の観察
- ⇒環境局とともに参加者が種
のリストをつくり公開。

住民の関心が高まると同
時に重要なリストになった。

- 年2回保護者と一緒に下草
刈りなどの保全活動。



観察会だけでなく、環境局の職員が
その土地の意味を伝える。
作業のあとにはバーベキューなどの
楽しい時間もつくる。

エコ地蔵盆

—地域行事を通じた環境配慮の取り組み—



エコ地蔵盆のはじまり



●きっかけ

環境市民の会員さんの問題意識からはじまった

最近の地蔵盆って…

- ・子どものおやつはファーストフード
ごみが多く出る袋菓子
- ・景品はすぐに捨てられてしまうおもちゃ、
合成洗剤
- ・終わったあとは、ごみが山積



子どもの健康や成長を願うお祭りのはずなのに…

! こどもの健康は?

! 大量のごみ、子どもが大人になったら社会はどうなる?



おやつ

ファストフードからの転換 & 体にやさしい食べ物



パン屋さんからパン
ジョウで運ばれたパン
をその場でつめて、
包装も最小限に。

牛乳屋さんに配達
してもらったリユー
ス瓶の乳飲料

(写真: 千葉有紀)

地域のパン屋さん
に添加物の少ない
ウインナーを持ち
込んで作ってもら
う。



添加物の少な
いお菓子

はちみつとゆず
の飲料水



(上京区石薬師町2010年)

(北区大宮薬師山西町・東町2007年)

おやつ：綿菓子の棒は？



お得な感じ～！

綿菓子の棒は
スティック状の
パンやフリッツ

(北区大宮薬師山町 2010年)



(東山区五条新道町 2010年)



いろいろなアイデア

お母さんたちによる手作りのたこ焼き(2009)



そばうち体験 お父さんが教える(2010)



(写真提供:三本木五丁目町)

レンタルした鍋で、近所の料理屋さんが
ハヤシライスを調理



マイカップ・マ
イスプーンの
使用

配膳は中学生
が担当



食器は、おがくずで油
汚れを拭き取る

(北区大宮薬師山町 2010年)

マイ食器の持参・情報発信



毎年恒例のそうめん流し
今年マイ食器とマイ箸を持参して。
(左京区岡崎東福川町 2010年)



給茶器とマイカップの導入で、飲みかけのジュースが自分のものだと思われるように

(山科区大宅辻脇町 2009年)

壁新聞で、エコ地蔵盆を説明



環境負荷の少ないおやつを選んで、気に入ったら購入できるように、お店情報も提供
(伏見区京町大国町 2009年)



ケータリングサービスを活用

北区大宮薬師山西町・東町 2009年

左京区高野公園 第一住宅

高野公園第一住宅提供



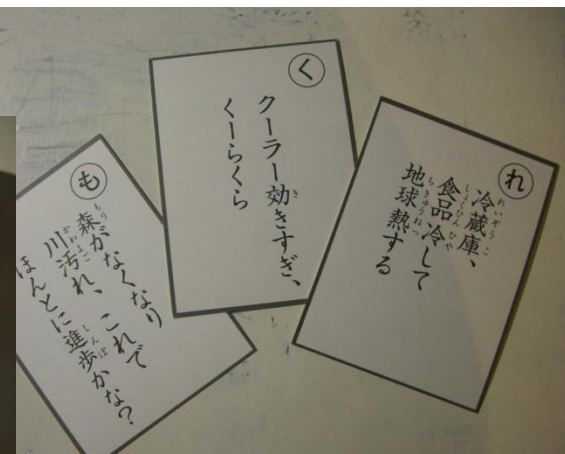
子どもたちへのプレゼントは、
各家庭から持ち寄った袋にいれ
て渡す



環境を楽しく学ぶワークショップ。



ソーラーパネルでおもちゃが動く
(中京区大津町2010年)



環境問題を学べる教材カルタでワークショップ (2008年)

地域の企業と地蔵盆



・町内の体操教室が、地域の人向けに体験教室を実施。

(上京区石薬師町 2010年)

・町内の企業と地域コミュニティとの交流。



取り組んだ町内の反応



・ごみが減った

終わった時、ごみが45リットル袋ひとつだった！（子ども140人）

・費用が浮いた

使い捨て容器の購入なし。子どもの景品は持ち寄ったおもちゃで。

・お菓子を考えるきっかけに

スナック菓子の詰め合わせは、量が多く添加物も心配だった。

・地蔵盆自体について考えるように

エコ地蔵盆に取り組むことで、地蔵盆は誰のために、何のためにやるか考えるきっかけにしたい。

・町内の交流が盛んに

- 「環境」の要素を入れることで、行事の内容に新しく楽しいアイデアが生まれ、役員も工夫することを楽しんだ。
- 環境のこともやればできる、という気持ちが出て、町内の結束力を高めることにもつながった。

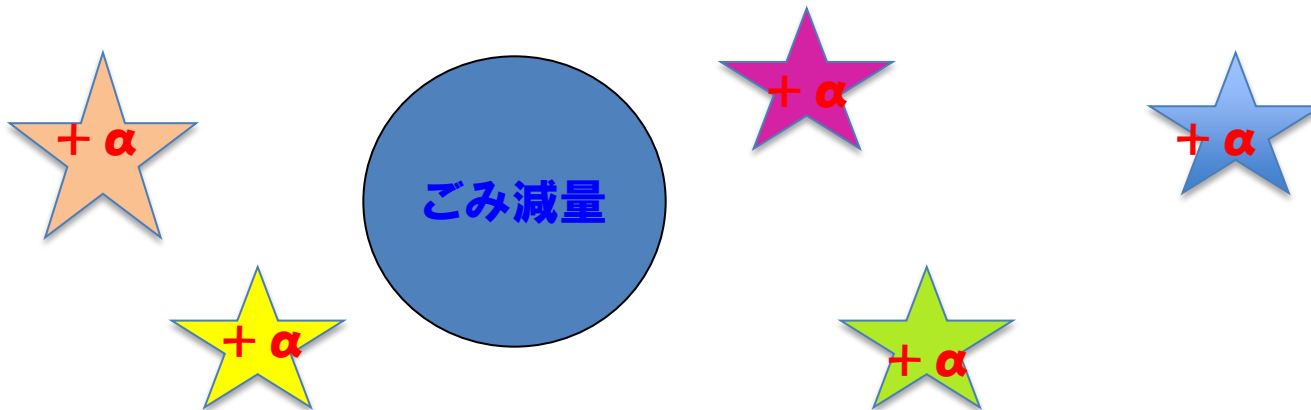
・日常への変化

地蔵盆で、500mlのペットボトルを使わなかったら、ごみが減ったのを見て日常生活でも気をつけるようになった。

エコ地蔵盆をやってみると・・・



- ✓ **ごみが減る** → **環境負荷が減る**
- ✓ **提供する食べ物が安心** → **子どもの健康に**
- ✓ **子どもも大人も参加する取り組み** → **地域の団結力に**
- ✓ **環境配慮のものを選ぶ** → **環境配慮商品を作る店が増える**
- ✓ **大人が頑張る** → **子どもへ環境教育の機会を提供できる**





NPO法人環境市民

〒604-0932

京都市中京区寺町二条下る

呉波ビル3階

TEL 075-211-3521

FAX 075-211-3531

<http://www.kankyoshimin.org/>
life@kankyoshimin.org

